

法学委員会・心理学・教育学委員会合同

法と心理学分科会

第7回会議議事録

■ 日時 2025年11月22日(土) 15時00分～18時30分

■ 方法 ウェブ会議

■ 参加者(五十音順、敬称略)

大江美佐里(久留米大学、精神医学)、笠井修(中央大学、民法)、金澤真理(大阪公立大学、刑法・刑事政策)、唐沢かおり(東京大学、心理学)、川嶋四郎(同志社大学、民事訴訟法)、行場次朗(東北大学名誉教授、心理学)、笹倉香奈(甲南大学、刑事訴訟法)、土井政和(九州大学名誉教授、刑事政策)、豊崎七絵(九州大学、刑事訴訟法)、仲真紀子(理化学研究所、心理学)、西希代子(慶應義塾大学、民法)、松宮孝明(立命館大学、刑法)

■ 欠席者

平山真理(白鷗大学、刑事訴訟法・刑事政策)

■ 議事概要

1. 開会、前回議事録の確認

笠井委員長より冒頭のあいさつと本日の進行内容について説明があった。

前回議事録の確認が行われ、異議なく承認された。

2. 研究報告ならびに質疑

・ 豊崎七絵氏(九州大学大学院法学研究院教授)「刑事事実認定における文脈効果と確証バイアス」

・ 川嶋四郎氏(同志社大学法学部法律学科教授)「民事訴訟法と心理学・覚書」

豊崎七絵氏、川嶋四郎氏により、上記のテーマで研究報告が行われ、それぞれ意見を交換した。

3. 今後の研究の進め方について

- ・ 来年 9 月に日本心理学会との共催によるシンポジウムを開催する。同学会と協議・協力しながら準備を今後、進めていく。①法律学から見た心理学、②心理学から見た法律学(法理論、実務など)を 2 つの柱としてシンポジウムを組み立てる。
- ・ 次回は 2026 年 1 月 10 日(土)15 時より開催することとし、西希代子氏、平山真理氏による研究報告および質疑を行う。次々回は 4 月に行場次朗氏による研究報告および質疑の予定。

以上